

DIBO FM TRANSMITTER

「C-020」取扱説明書

本製品の特徴

- SDカード/USBメモリ内の楽曲データを再生できる、車載用FMTランスミッターです。
- SDカード、もしくはUSBメモリ内に収納された音楽データを再生します。
(音楽データはMP3、もしくはWMAに対応します)
- 再生された音声はFM電波で送信され、車載のFMチューナーで鑑賞できます。
- 付属のリモコンをご利用頂く事で、視線を変えずに操作ができます。
- 付属の音声ケーブルをお手持ちの音楽プレーヤーのイヤホン端子に接続すれば、プレーヤーの音声をFM電波で送信する事もできます。
- FMTランスミッター周波数、曲時間、曲名(日本語非対応)を表示できる液晶モニター搭載。

ご注意ください!

- 本機にて再生できるWMAファイルは、著作権保護のかかっていない物に限ります。
WMAの著作権保護に関しましては、使用される録音ソフトのマニュアル(ヘルプ)をご参照下さい。
- シガーソケットが24Vの場合、FMTランスミッター機能のみ使用可能です。
24V車でSDカード/USBメモリ内の音楽データを再生されますと、製品が破損する危険性がございます。

STEP1 使用前の準備 (C-020本体以外に必要なもの)

- 音楽データ(MP3/WMA)が入ったSDカード、もしくはUSBメモリ
- FMラジオとシガレットライターが搭載された車

STEP2 接続手順

- 1.SDカードもしくはUSBメモリをC-020に接続してください。
(挿す方向にご注意ください。間違った方向に無理矢理挿すと本体を破壊する恐れがございます。
誤った使用方法で本体を壊した場合には、サポート対象外となります。
また、FMTランスミッター機能のみをご使用の場合は、SDカード/USBメモリは接続せず、付属のオーディオケーブルを音楽プレーヤーと接続してください)
- 2.C-020を車のシガレットライターに接続してください。
(車のエンジンをかけた状態で接続してください)
- 3.本体かリモコンのFM周波数値設定ボタンを操作してFMTランスミッターの周波数を設定します。
(お客様の住まいのエリアでFMラジオが使用していない周波数帯を選んでください。)
- 4.カーオーディオをFMに切り替え、3.で設定したFM周波数に調整してください。
- 5.本体かリモコンの再生ボタンを押すと、メモリ内の音楽データが再生されます。

STEP3 操作方法

STEP2でカーオーディオから音楽が流れたら、基本の操作は完了です。
次に曲飛ばし、ボリューム設定などについて説明します。

(FMTランスミッター機能のみをご使用の場合、本項の内容は関係ございません)

●本体での操作

[基本操作]

- ①▶▶ボタンで曲を再生・一時停止します。(ボタン長押しで再生モードの変更ができます)
- ②▶▶ボタンで次の曲に進みます。(ボタン長押しでボリュームが上がります)
- ③◀◀ボタンで前の曲に戻ります。(ボタン長押しでボリュームが下がります)
- ④「-A」「B+」ボタンで、FM周波数の設定を行います。

[再生モードについて]

再生ボタンを長押しすることで、再生モードの変更が行えます。
再生ボタンを押す毎に、モードが切り替わります。

Repeat One	再生中の曲を繰り返し再生します。
Repeat All	メモリ内の曲を最後まで再生した後、最初の曲に戻ります。
Intro	曲の頭から10秒だけ再生します。

●リモコンでの操作

[基本操作]

- ①再生ボタンで曲を再生・一時停止します。(ボタン長押しで再生モードの変更ができます)
 - ②▶▶ボタンで次の曲に進み、◀◀ボタンで前の曲に戻ります。
 - ③「CH-」「CH+」ボタンでFM周波数の設定を行います。
 - ④「-」「+」ボタンで本体のボリューム調整を行います。
 - ⑤「EQ」ボタンでイコライザー設定をおこない、音質を変更します。
 - ⑥「0」「9」の数字ボタンで、指定の曲番号に移動する事ができます。
(数字ボタンを押した後、「PICK SONG」ボタンで決定)
 - ⑦「PICK SONG」ボタンだけを押し、設定画面に入ります。
(音楽データの一時停止中、再生中で、表示される項目が異なります)
 - ⑧「CH SET」は、本機の操作には関係ございません。(押しでも反応しません)
- <イコライザー調整について>
Natural/Rock/Pop/Classic/Soft/Jazz/DBBの中から選択できます。

[設定画面について]

「PICK SONG」ボタン(以下「P」ボタン)を押すと、各種設定画面に切り替わります。
(音楽データの一時停止中、再生中で、表示される項目が異なります)
設定画面のトップ、及び各項目とも、◀◀、▶▶ボタンで選択し、「P」ボタンで決定します。
各項目で「P」ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

<一時停止中>

Card folder	SDカード/USBメモリ内の音楽データを選択します。
Del file	現在一時停止中の音楽データを削除します。
Del all	SDカード/USBメモリ内の全音楽データを削除します。
Language	表示言語を変更することができます。※
Contrast	文字の濃さを調整できます。
Firmware Version	システム情報を表示します。
Exit	再生画面に戻ります。

- 万が一、本製品を接続して車に不具合や異常が発生した場合、いかなる理由があっても本製品以外の保証、弁済等はお受けできません。
- 万が一、本製品を使用中に運転事故が発生した場合、いかなる理由があっても保証、弁済等はお受けできません。



上段 SDメモリ用スロット
(SDHC対応)
下段 USBメモリ用スロット
(大容量対応8GBテスト済)

<再生中>

上記項目中、「Language」「Contrast」「Firmware Version」「Exit」のみ表示されます。

ご注意ください!

「Language」項目で「Japanese」を選択しますと、全設定項目が文字化けします。
「Language」項目の設定変更はお控えいただけますよう、お願い申し上げます。

「Card Folder」項目について

メモリ内の音楽データをエクスプローラー風画面で見ることができます。
◀▶▶▶ ボタンで選択し、「P」ボタンでフォルダの中身を確認できます。
任意の曲データにカーソルを合わせ、「P」ボタンを押すと、再生が始まります。
一つ上の階層に戻りたい時は、カーソルを「\」に合わせて「P」ボタンを押します。

使用上の注意点

- 再生中に車のエンジンを切り、再びエンジンを入れて再生すると、最後に一時停止した地点から再生されます。
一時停止せずにエンジンを切りますと、その地点からは再生されません。
- 夏場および日中は車の中が高温になります。そのような状況下で、車の中に本体及びメモリを放置すると、メモリが破損することがございます。車内の熱が原因で本体を壊した場合、サポート対象外となりますのでご注意ください。
- FMトランスミッターを使って音楽再生するため、車の周辺にノイズを発生するような原因があった場合、音楽再生時に音楽が綺麗に再生されない場合がございます。
- 再生する音楽データによっては、音量が大きい・低音が強い等の要因により、音が割れてしまう場合がございます。その場合は本機側の音量を下げる、音質を標準(Natural)に戻す等行っていただき、カーオーディオ側にて音量、音質を調整していただく事をお勧め致します。
- 長距離の運転等によって、設定中のFM周波数を利用するFM放送局のラジオ放送が混信する事があります。その場合には、本機のFM周波数を変更していただく事をお勧め致します。
- 車の機種によっては、エンジンを切った後もシガレットライター部分挿っている電気製品に電流を流しつづける場合があります。その場合、バッテリーが放電して次回車に乗る際、エンジンがかからなくなったり、車の電装器具を破損する可能性があります。そのため、車を降りる際にはシガレットライターから必ず本体を抜いてください。

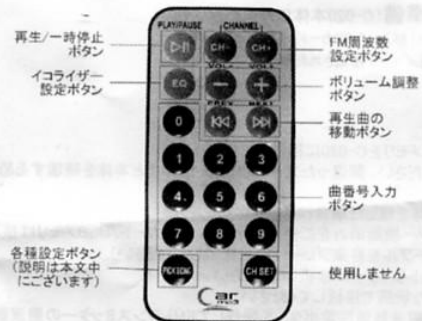
外部入力



ボリューム大小(長押し、ボリューム表示)
曲移動(短押し、曲数表示)

再生/一時停止

FM周波数値設定(0.1MHzで調整可能)



再生/一時停止
ボタン
イコライザー
設定ボタン

FM周波数
設定ボタン

ボリューム調整
ボタン

再生曲の
移動ボタン

曲番号入力
ボタン

各種設定ボタン
(説明は本文中
にございます)

使用しません

(資料作成日:2009/12/07)